

1. 日程： 2008年5月31日(土)・6月1日(日)
2. 開催校：広島修道大学
〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1 広島修道大学法学部
<http://www.shudo-u.ac.jp/www-law/>

3. プログラム

統一テーマ：「地球共同体の実現に向けて：ミレニアム目標の到達点と課題」

ヨハネスブルク・サミットを経て、国連は持続可能な発展に向けた道のりをさらに一歩進みつつあるように見える。しかし、地球共同体はなお新しい脅威に取り巻かれ、諸国のミレニアム目標への意欲と行動には温度差があり、その達成度は充分ではない。昨年よりバン事務総長の率いることとなった国連は、いかなる方向に進むべきか。これまでの到達点を振り返り、実現への障壁を分析して、今後の課題を検討する。

第1日目(広島修道大学6号館6102教室)

10:00-10:30 基調講演

「持続可能な発展における国連の役割：特に貧困削減と地球環境保護」 廣野 良吉(成蹊大学名誉教授)

10:40-12:30 第1セッション 「ミレニアム目標の到達点」

「MDGsプロセス」と国際援助調整システム—その意義・課題と展望

稲田 十一(専修大学教授)

「MDGs：アフリカの現状と課題」

遠藤 貢(東京大学教授)

「ジェンダー平等—クロスカッティング・イシューとして」

堀内 光子(文京学院大学教授)

12:30-14:00 昼食 (理事会、6号館6103教室)

14:00-17:00 第2セッション 「国連の経済社会協力のあたらしいかたち」

「国連の経済社会協力のあたらしいかたち—国際法的観点から」 吾郷 眞一(九州大学教授)

「国際開発援助レジームにおける国連システムの役割と展望」 大平 剛(北九州市立大学教授)

「グローバル・コンパクトが開く官・民シナジーの可能性」 野村 彰男(早稲田大学教授)

17:00-17:30 総会

18:00-20:00 懇親会

会場：リーガロイヤルホテル広島 3階 音戸の間

会費：5,000円(当日学会受付にて申し受けいたします。)

※広島修道大学からバスにて会場へ移動いたします。

第2日目(広島修道大学6号館6102教室)

10:00-12:30 第3セッション 若手独立報告

「アフリカにおける国連平和維持活動の変質に関する一考察

—スーダンとソマリアの事例をもとに—

井上 実佳(津田塾大学国際関係研究所研究員)

「国連の民主化とその課題—UNDEFの活動を中心に」

杉浦 功一(和洋女子大学 専任講師)

「国連事務局における事務総長のリーダーシップ—組織・幹部人事から見た一考察」

古川 浩司(中京大学准教授)

「国連システムにおける調達行政の意義と企業・NGOの役割」

坂根 徹(日本学術振興会特別研究員(PD))

12:30-14:00 昼食 (編集・企画合同委員会、6号館6103教室)

14:00-16:30 第4セッション 「国連による平和と安全の維持のゆくえ」

国連憲章を基盤とする国連は、その主たる任務である平和と安全の維持に関して、あるいは憲章の解釈によって、あるいは政治的判断によって、対応を施してきた。特に冷戦後の国連は、「新しい脅威」に直面して、設立当初の国連の枠や概念からはみ出て、さまざまな活動を行うに至っている。国連の平和と安全の維持に関してもう一度振り返って総括するべき時が来ている、といえる。

「国連安全保障理事会の創造的展開とその正当性—憲章第七章の機能の多様な展開をめぐって—」

佐藤 哲夫 (一橋大学教授)

「人間の安全保障規範の展開と国連の課題」 栗栖 薫子 (大阪大学准教授)

「New Perspective of Peace and Security in the United Nations」 (仮題)

Nassrine Azimi (UNITAR 広島事務所長)